

2005年度決算説明会

〔1〕業績概要及び事業環境

〔2〕決算解析と見通し

〔3〕目標

2006年5月18日

東邦チタニウム株式会社

〔 1 〕 業績概要及び事業環境

連結業績概要（推移）

（百万円）

	04年度	05年度	06年度 予想 \$=110円	差異	差異
				05－04	06－05
売上高	26,066	31,706	35,000	(○)5,640	(○)3,294
営業利益	2,628	8,980	9,000	(○)6,352	(○)20
経常利益	2,481	8,948	9,000	(○)6,467	(○)52
当期純利益	1,876	5,123	5,300	(○)3,247	(○)177

* 為替感応度

(1円→65百万円/年)

配当金（円/株）	5.00	15.00	15.00
----------	------	-------	-------

* 04年度は分割換算。

2005年度レビュー

チタン

- ・ 好調な事業環境継続

展伸材用スポンジの価格アップと販売量増加

鉄鋼添加用スポンジの価格高騰

インゴットの価格アップと販売量増加

- ・ 増強計画及び構想の発表

インゴットの増強計画 (9,000→19,000 t /年)

2008年4月稼動開始 (北九州市)

スポンジの増強構想 (15,000→22,000 t /年)

2011年度完成予定 (茅ヶ崎市)

* 第一段階 15,700 t へ増強 (07年8月完成)

2005年度レビュー

電材

- ・ 販売量底打ち→回復傾向

関係会社

- ・ 東邦キャタリストの増強計画発表
2007年1月完成 (135 t → 175 t /年)
- ・ トーホーテック
売上高30億円超の達成

株式政策

- ・ 株式の分割実施 (1 : 2)
株主数の増加 05/3末 6,618名 → 06/3末 27,603名

チタン部門

【事業環境】

航空機向け需要の好調継続

日本のスポンジ出荷量

05暦年 30,549 t (過去最高更新)

06暦年 36,000 t (チタン協会予想)

一般産業用も好調継続

展伸材出荷量

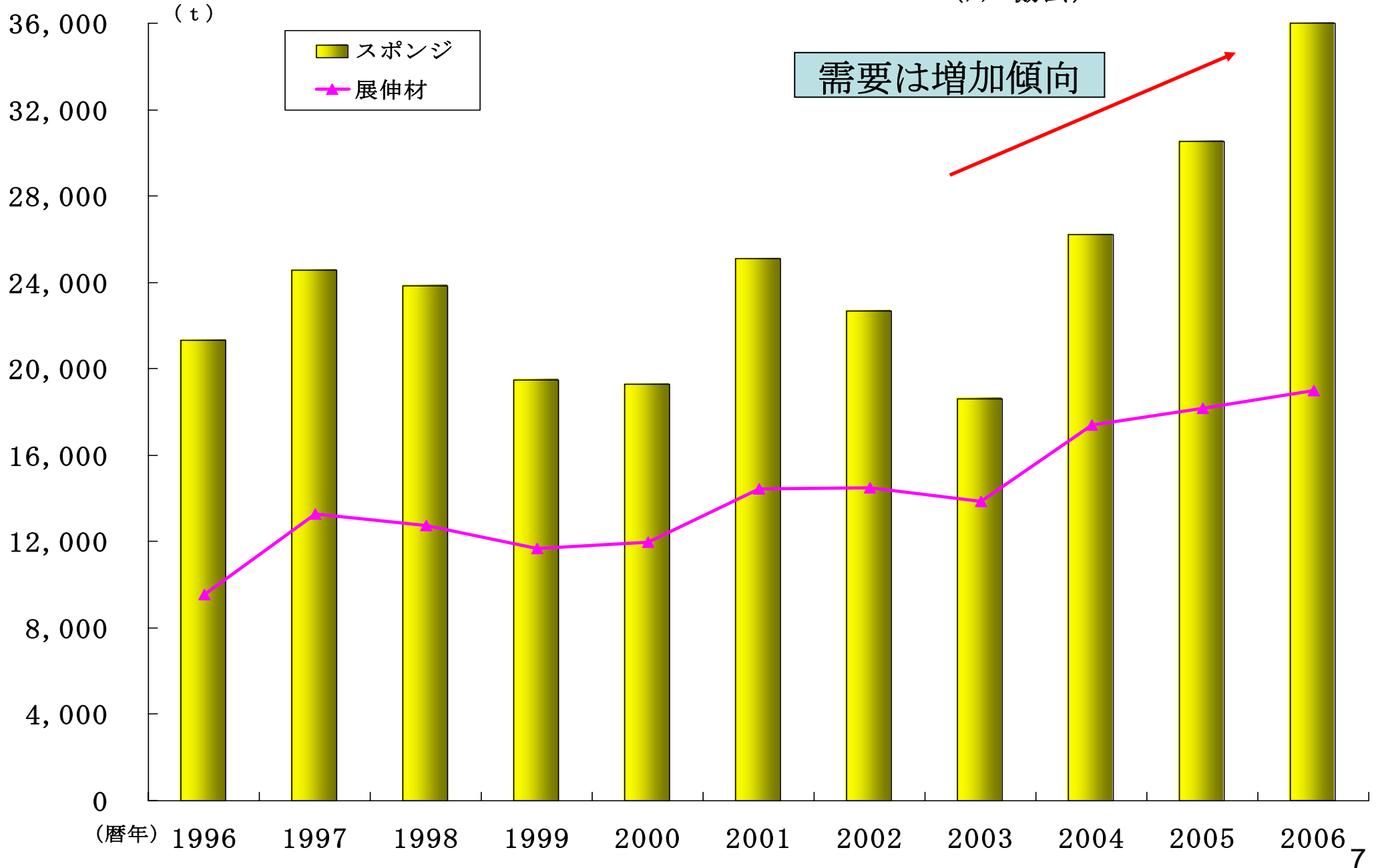
05暦年 18,147 t (過去最高更新)

06暦年 19,000 t (チタン協会予

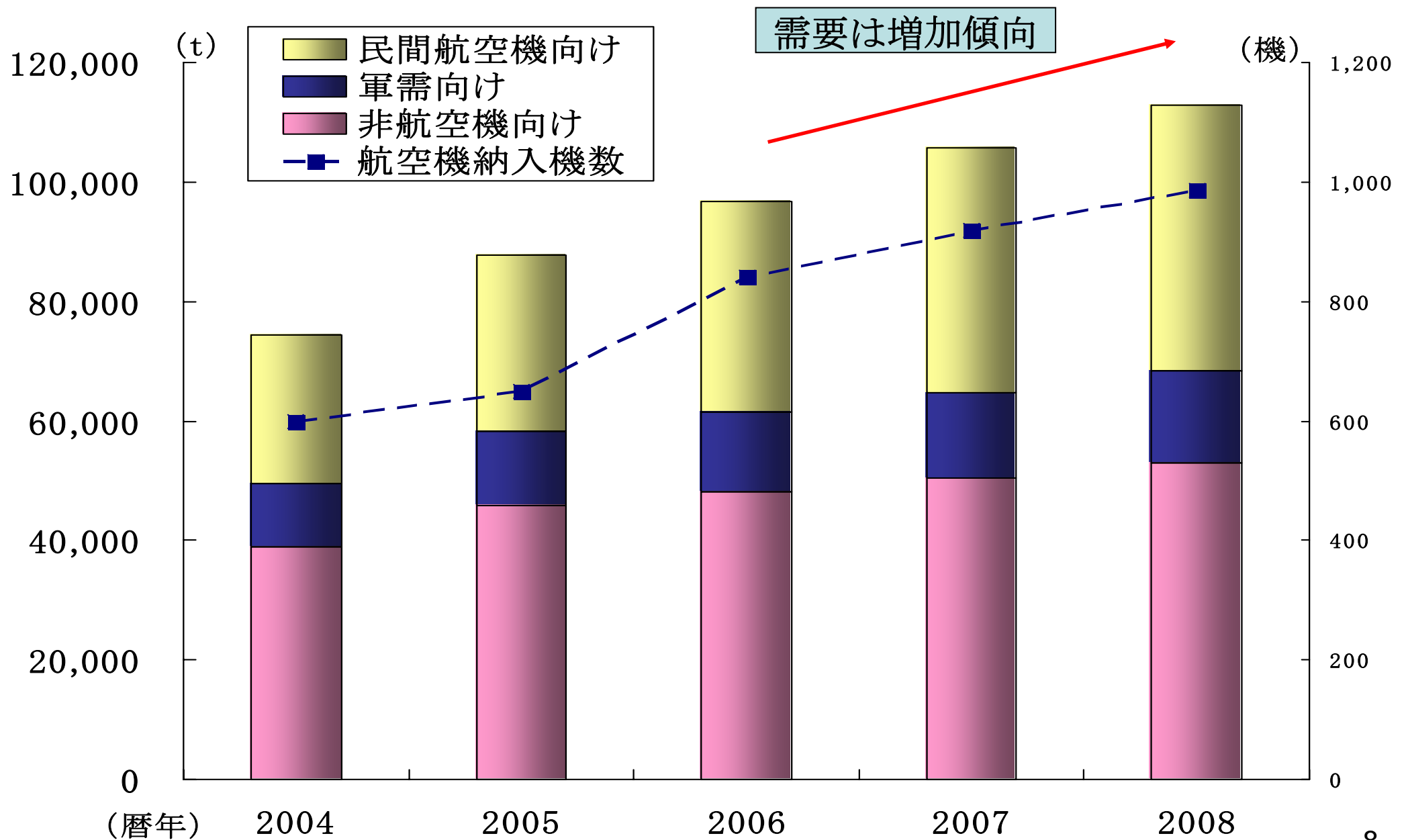
想)

展伸材・スポンジ出荷量実績及び予想

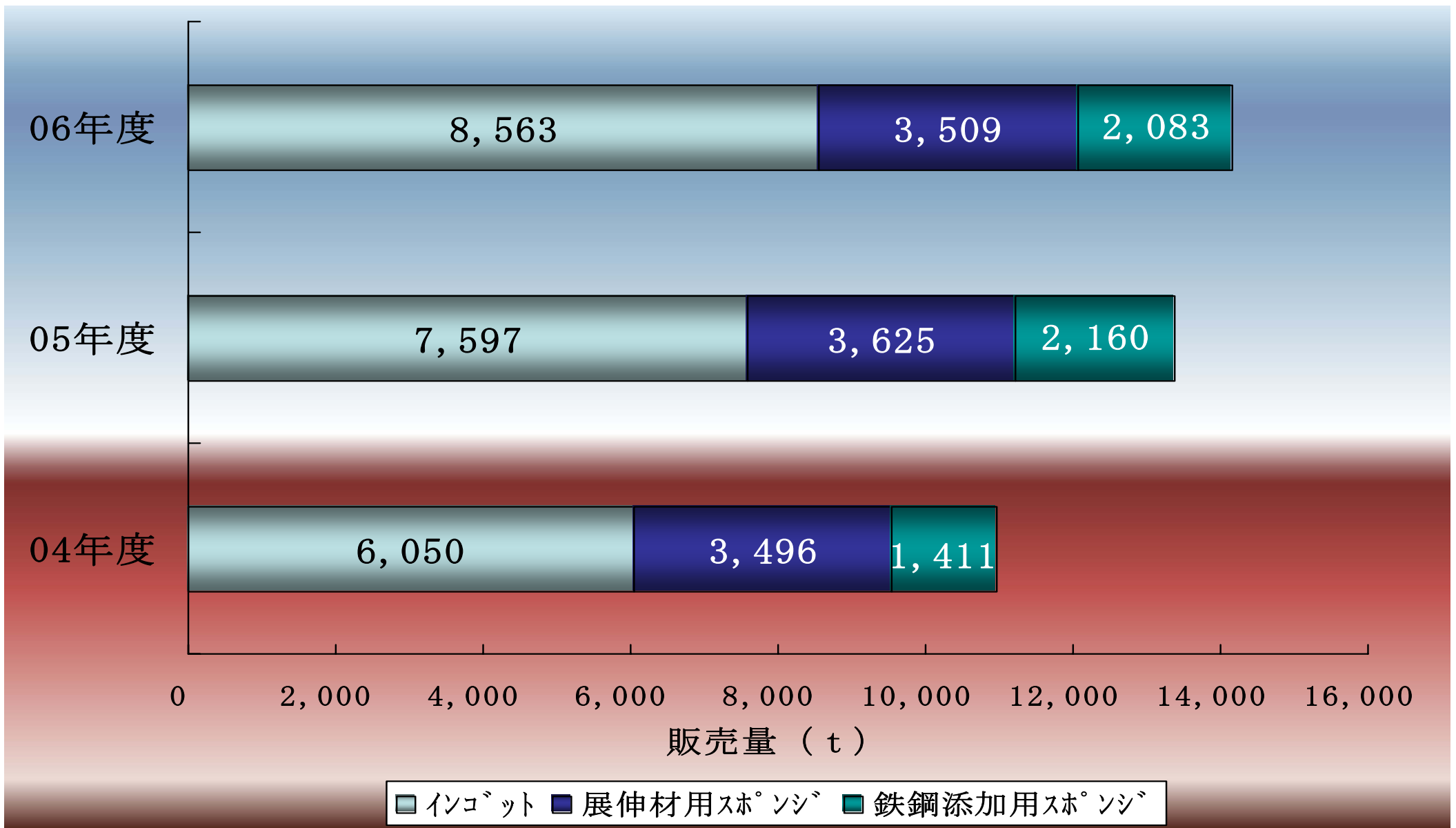
(チタン協会)



世界展伸材用スポンジチタン需要予測 (当社推計)



チタン製品販売量推移 (t/年)



チタン部門

【方針】

安定操業の維持

現有設備で最大生産量の追求

能力増強投資の計画通りの推進

更なる能力増強計画の検討

スポンジチタン、チタンインゴット

新製錬法の開発推進

電 材

【事業環境】

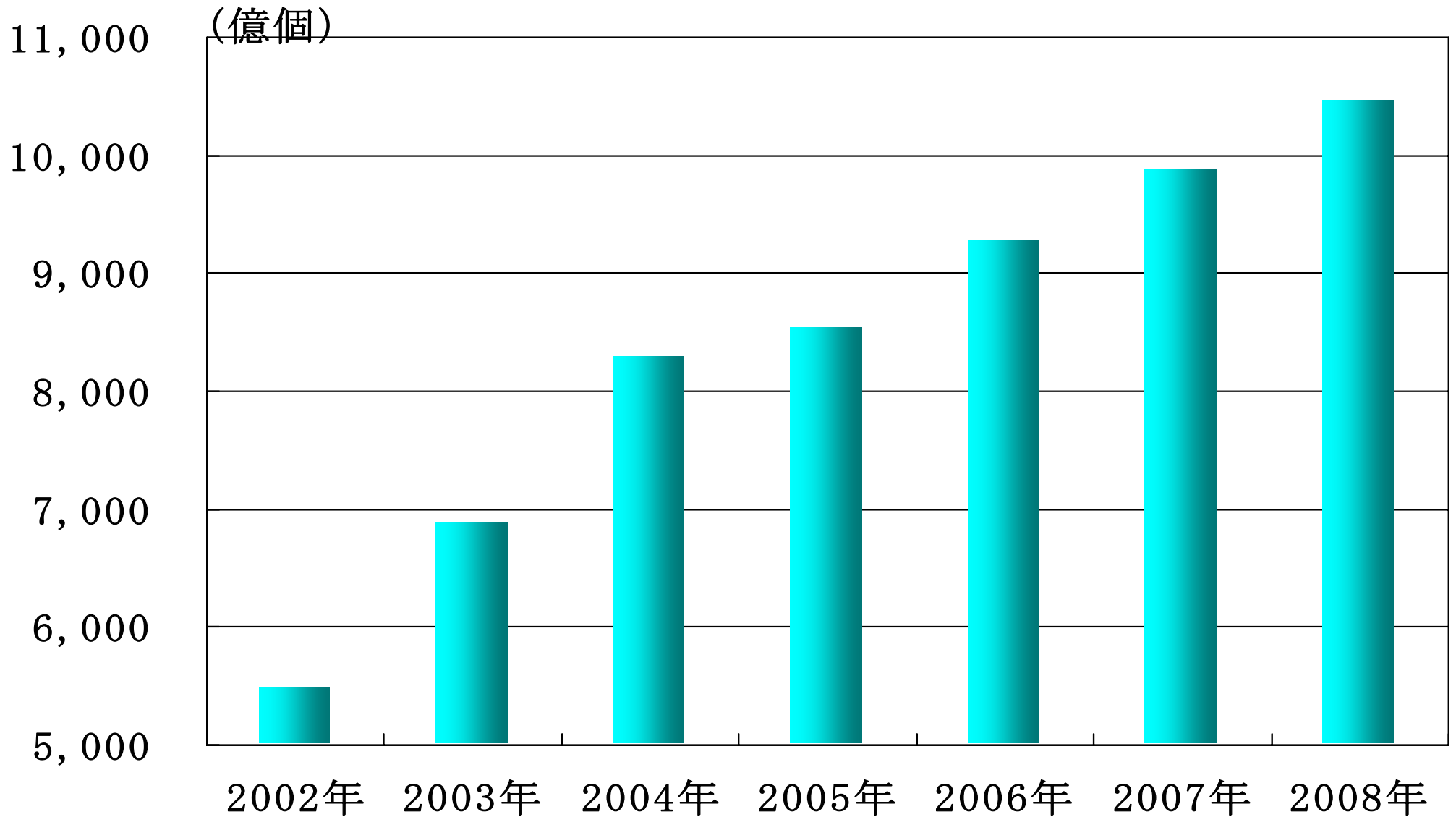
- ・ 電子部品及びMLCC (積層セラミックコンデンサー) は、携帯電話、パソコン、デジタル家電の成長を背景に順調な伸びが見込まれる。

【方針】

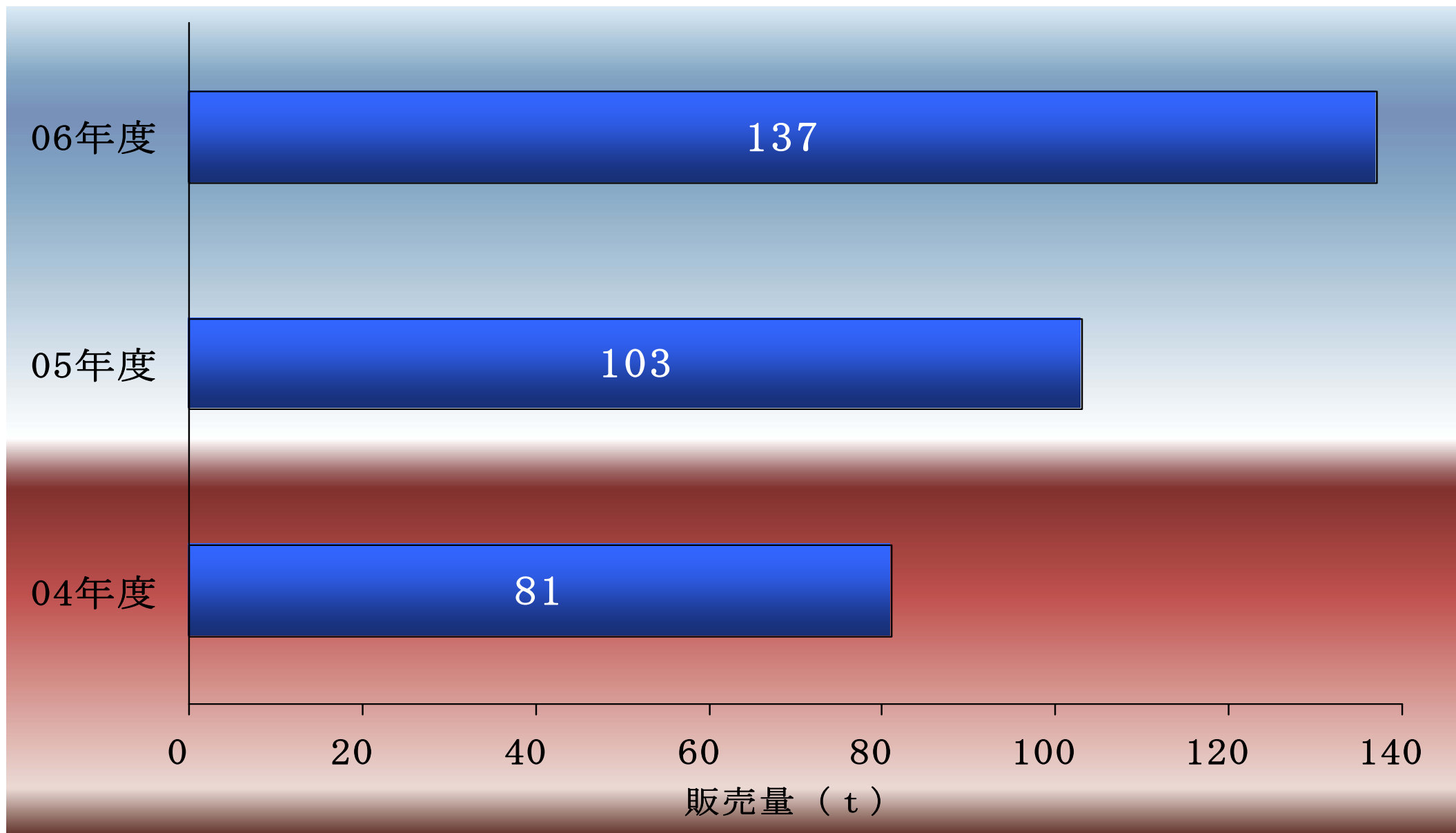
- ・ 拡販による事業収益基盤の確立。

MLCC生産個数の推移

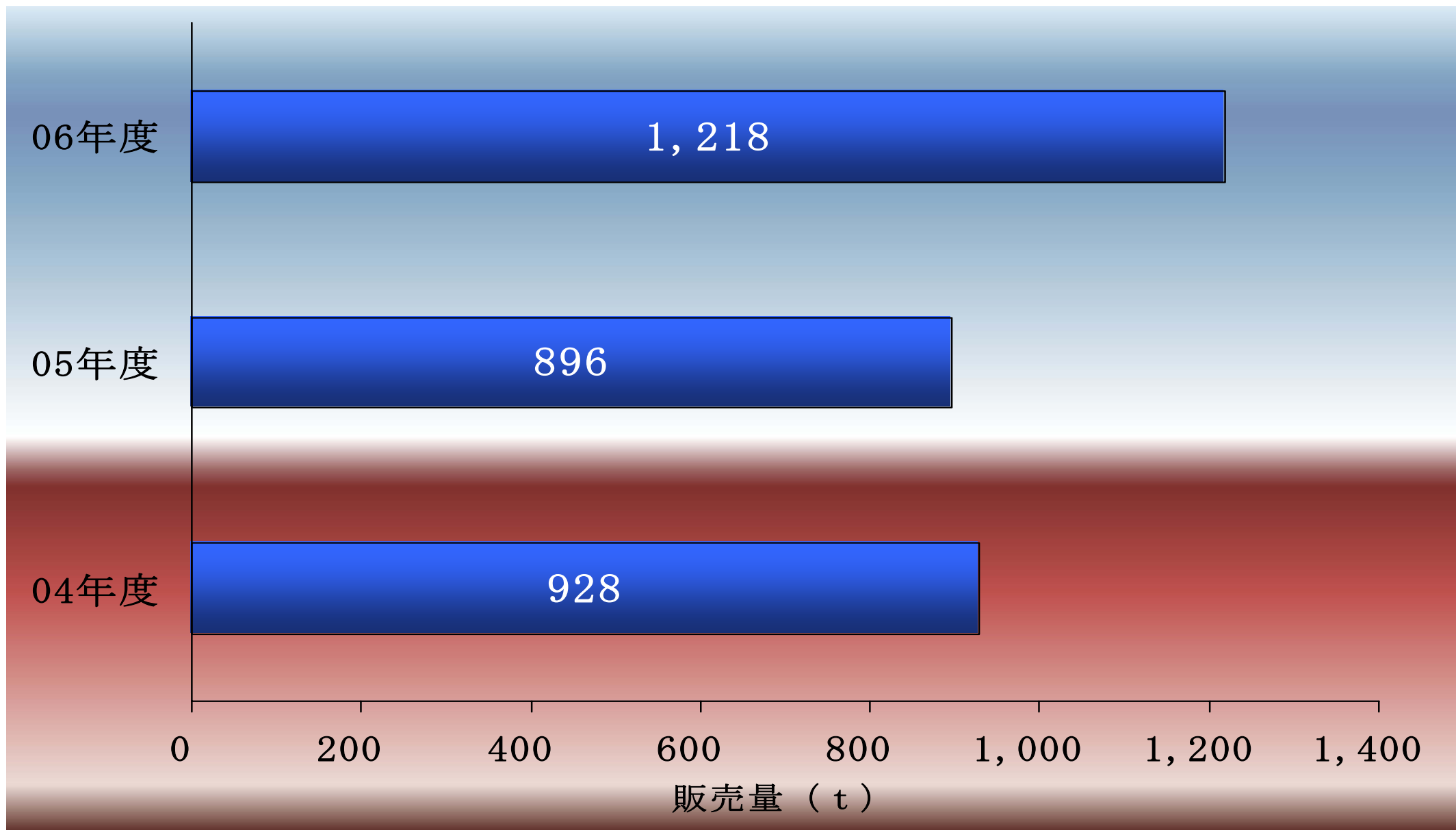
(当社推計)



超微粉ニッケル販売量推移 (t/年)



高純度酸化チタン販売量推移 (t /年)



触 媒

(事業環境)

- PP需要はアジア市場中心に伸長。
6～7%/年の伸び率。

(方針)

- 能力増強投資の計画通りの推進。
- 次期能力増強の計画。
- 新世代触媒の開発。

事業環境認識

(1) PP (ポリプロピレン) の05-09年需要予測等

- ・**成長率** : 6~7%/年...アジアを中心に伸長(特に中国)、樹脂長所が武器
- ・**生産** : プラントは今後も高稼働...05年度原油価格高騰でプロピレンモノマー価格も高騰したが、需要減退は見られず
: **スクラップ&ビルド**...PP製造プラントの淘汰(高コストプラント閉鎖)

欧州: 3.4%/年

需要増→中東からの
輸入増で充足

アジア: 8.1%/年

堅調な需要増、
能力増強計画あり

中東: 10.0%/年
新規投資サイクル
突入

日本: 3.3%/年
需要頭打ちだが
生産能力増強
計画有り

北米: 5.0%/年

需給タイト
→高稼働率継続
(当面デボトルネックで
対応、新規投資は
09年頃~)

(2) PPメーカーの動向

- コスト・品質の競争継続

合従連衡（欧州、アジアが主）

大型プラント新設（スクラップ&ビルド）

「安価原料（プロピレン）」を有する中東等のメーカー台頭

- メーカー二極化

技術志向/汎用志向

（一部アジアメーカーが汎用→技術にシフトしつつある）

- 環境規制対応

欧州動向（REACH）に呼応し、世界的に強化の方向

(3) 競合触媒メーカー動向

- 事業売却/買収

 - Base11/BPの事業売却

 - BASFがEngelhard買収

- 大手企業の新規参入

 - Grace、Sud-Chemie、・・・

- 各社新グレード投入

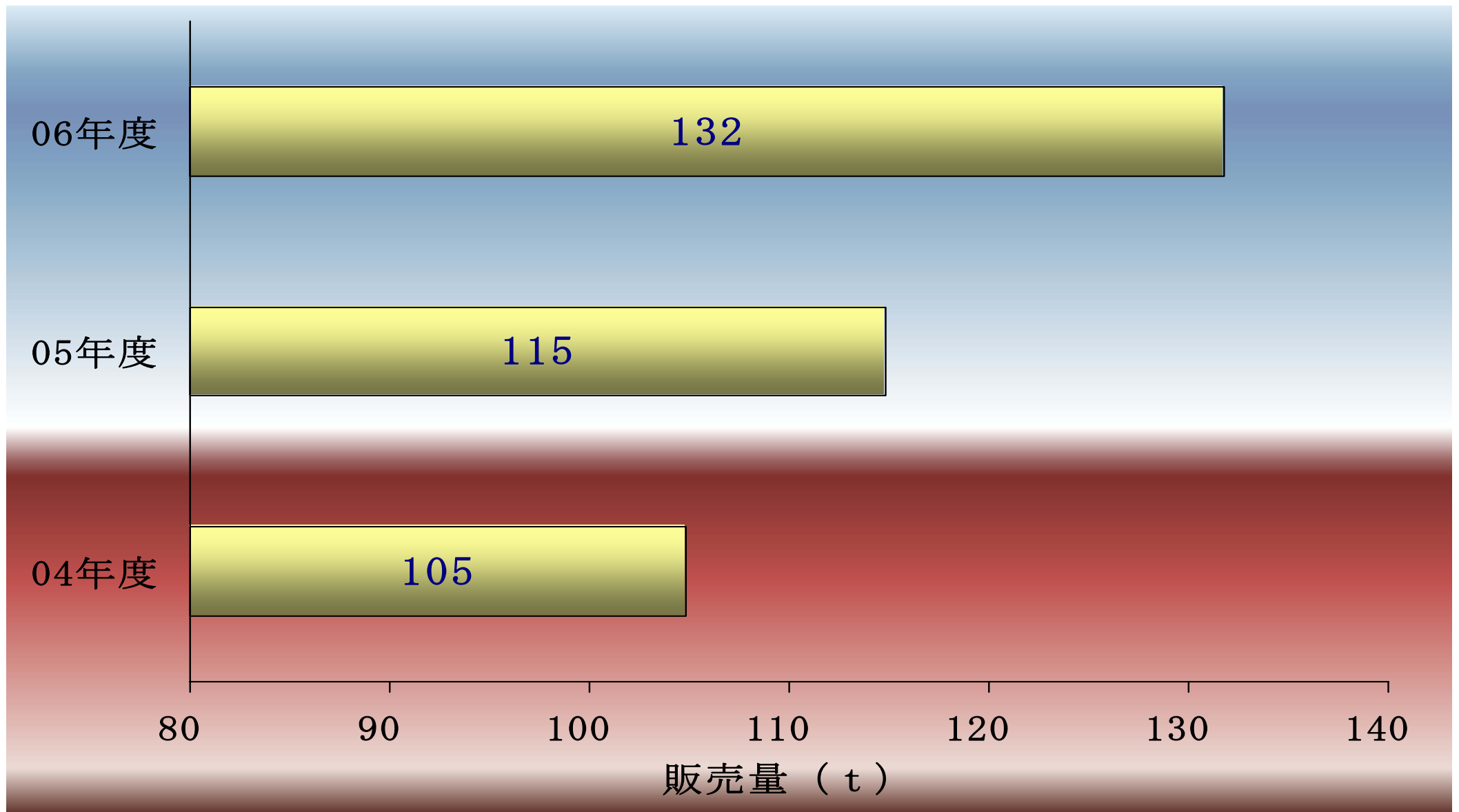
 - 高活性、高ｺﾞﾑICP用、・・・

- 中国品台頭

 - 価格を武器に、主として汎用分野に参入

 - 中国国内での合併による競争力強化

THC販売量推移 (t /年)



技術開発

- 研究開発棟新設
グループ研究施設の集約
開発の効率化、相乗効果
スペースの創出
- 新規事業の推進
開発テーマの早期事業化

研究開発棟概要

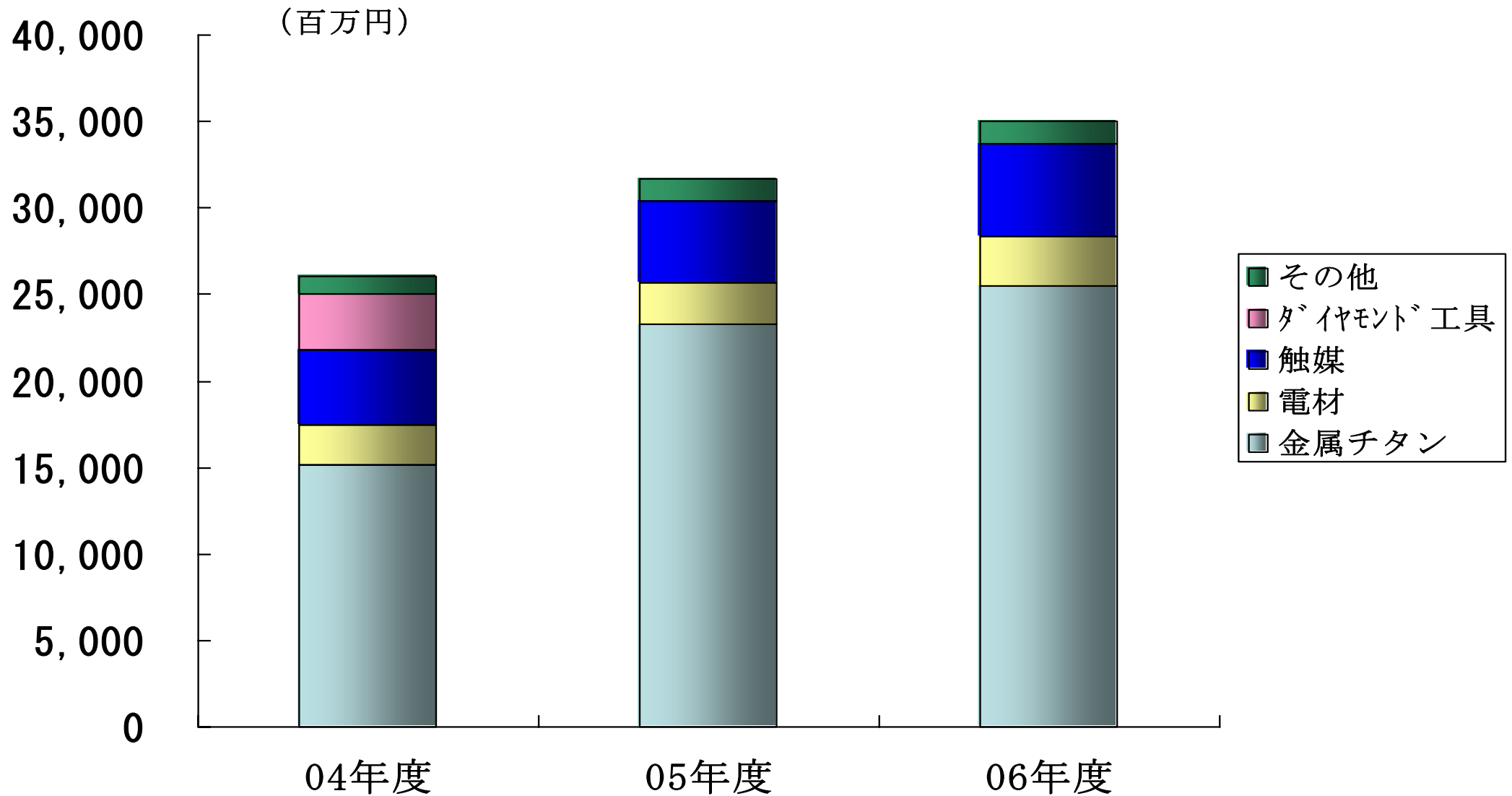
投資額 785百万円

建物概要 鉄骨造4階建
延床面積 約3,100m²

内容 茅ヶ崎工場内に点在している当社及び関係会社の研究開発設備・評価設備を集約

〔2〕決算解析と見通し

セグメント別売上高推移

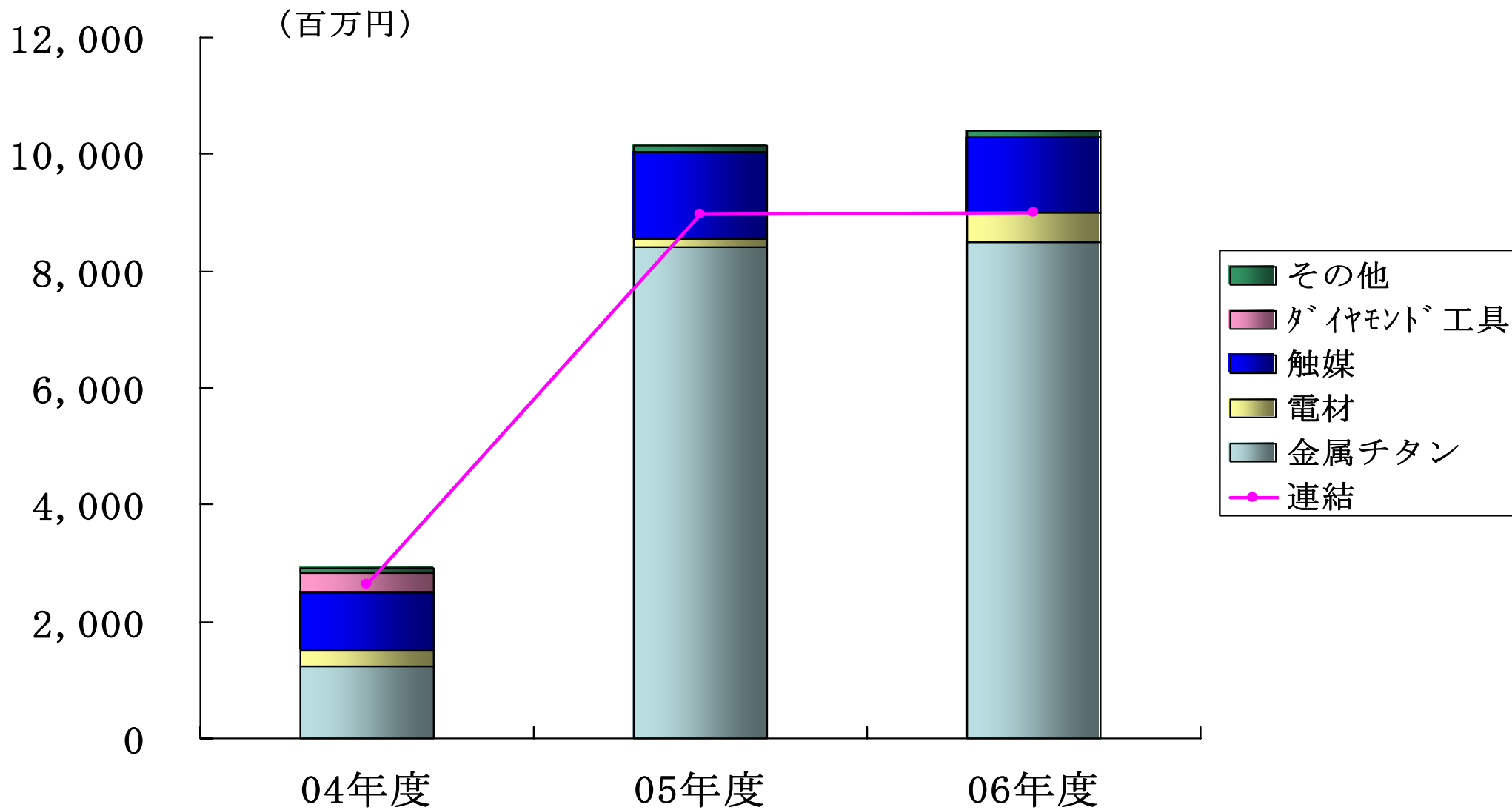


セグメント別売上高推移

(百万円)

	04年度	05年度	06年度 予想	差異 05－04	差異 06－05
金属チタン	15,114	23,312	25,500	(○)8,198	(○)2,188
電材	2,387	2,372	2,900	(×)15	(○)528
触媒	4,256	4,747	5,300	(○)491	(○)553
ダイヤモンド工具	3,270	—	—	(×)3,270	—
その他	1,039	1,275	1,300	(○)236	(○)25
計	26,066	31,706	35,000	(○)5,640	(○)3,294

セグメント別営業利益推移



セグメント別営業利益推移

(百万円)

	04年度	05年度	06年度 予想	差異 05－04	差異 06－05
金属チタン	1,803	8,405	8,490	(○)6,602	(○)85
電材	272	150	520	(×)122	(○)370
触媒	985	1,494	1,270	(○)509	(×)224
ダイヤモンド工具	340	－	－	(×)340	－
その他	80	104	120	(○)24	(○)16
消去又は全社	-852	-1,173	-1,400	(×)321	(×)227
計	2,628	8,980	9,000	(○)6,352	(○)20

05・06年度営業利益差異概要(億円)

05年度営業利益 89.8億円

(プラス要因) 22.2

展伸材用スポンジ価格アップ 6.5

インゴット収益向上 10.0

その他部門収益向上 5.7

(マイナス要因) ▲ 22.0

鉄鋼添加用スポンジ価格ダウン等 ▲ 12.0

触媒棚卸評価方法変更 ▲ 2.5

(後入れ先出し→先入れ先出し)

研究開発費等増 ▲ 7.5

06年度営業利益 90.0億円

	04 年度	05 年度	06年度予想			年度差異	年度差異
			上期	下期	年度	05－04	06－05
ｽﾌﾟﾝｼﾞ生産量(t)	9,285	13,125	6,887	6,806	13,693	(○) 3,840	(○) 568
ｽﾌﾟﾝｼﾞ販売量(t)	4,907	5,786	2,733	2,859	5,592	(○) 879	(×) 194
展伸材向け(t)	3,496	3,626	1,737	1,772	3,509	(○) 130	(×) 117
鉄鋼添加向け(t)	1,411	2,160	996	1,087	2,083	(○) 749	(×) 77
ｲﾝｺｯﾄ販売量(t)	6,050	7,597	4,188	4,375	8,563	(○) 1,547	(○) 966
高純度ﾌｻﾝ販売量(t)	141	146	78	71	149	(○) 5	(○) 3
売上高(百万円)	15,114	23,312	12,500	13,000	25,500	(○) 8,198	(○) 2,188
営業利益(百万円)	1,803	8,405	4,170	4,320	8,490	(○) 6,602	(○) 85

営業利益 主な差異

金属チタン部門

(百万円)		05－04	06－05
ｽﾌﾟﾝｼﾞ	数量	(○) 350	(×) 60
	価格	(○) 3,100	(×) 550
	為替他	(○) 404	(×) 200
	小計	(○) 3,854	(×) 810
ｲﾝｺｯﾄ	数量	(○) 240	(○) 300
	価格他	(○) 2,144	(○) 700
	小計	(○) 2,384	(○) 1,000
その他		(○) 364	(×) 105
総計		(○) 6,602	(○) 85

	04 年度	05 年度	06年度予想			年度差異	年度差異
			上期	下期	年度	05－04	06－05
超微粉ニッケル販売量(t)	81	103	63	74	137	(○) 22	(○) 34
高純度酸化チタン販売量(t)	928	896	601	617	1,218	(×) 32	(○) 322
売上高 (百万円)	2,387	2,372	1,400	1,500	2,900	(×) 15	(○) 528
営業利益 (百万円)	272	150	220	300	520	(×) 122	(○) 370

営業利益 主な差異

		(百万円)	05－04	06－05
ニッケル粉	数量		(○) 40	(○) 50
	価格他		(±) 0	(○) 150
	小計		(○) 40	(○) 200
酸化チタン	数量		(×) 10	(○) 50
	価格他		(×) 95	(○) 110
	小計		(×) 105	(○) 160
その他			(×) 57	(○) 10
総計			(×) 122	(○) 370

電材部門

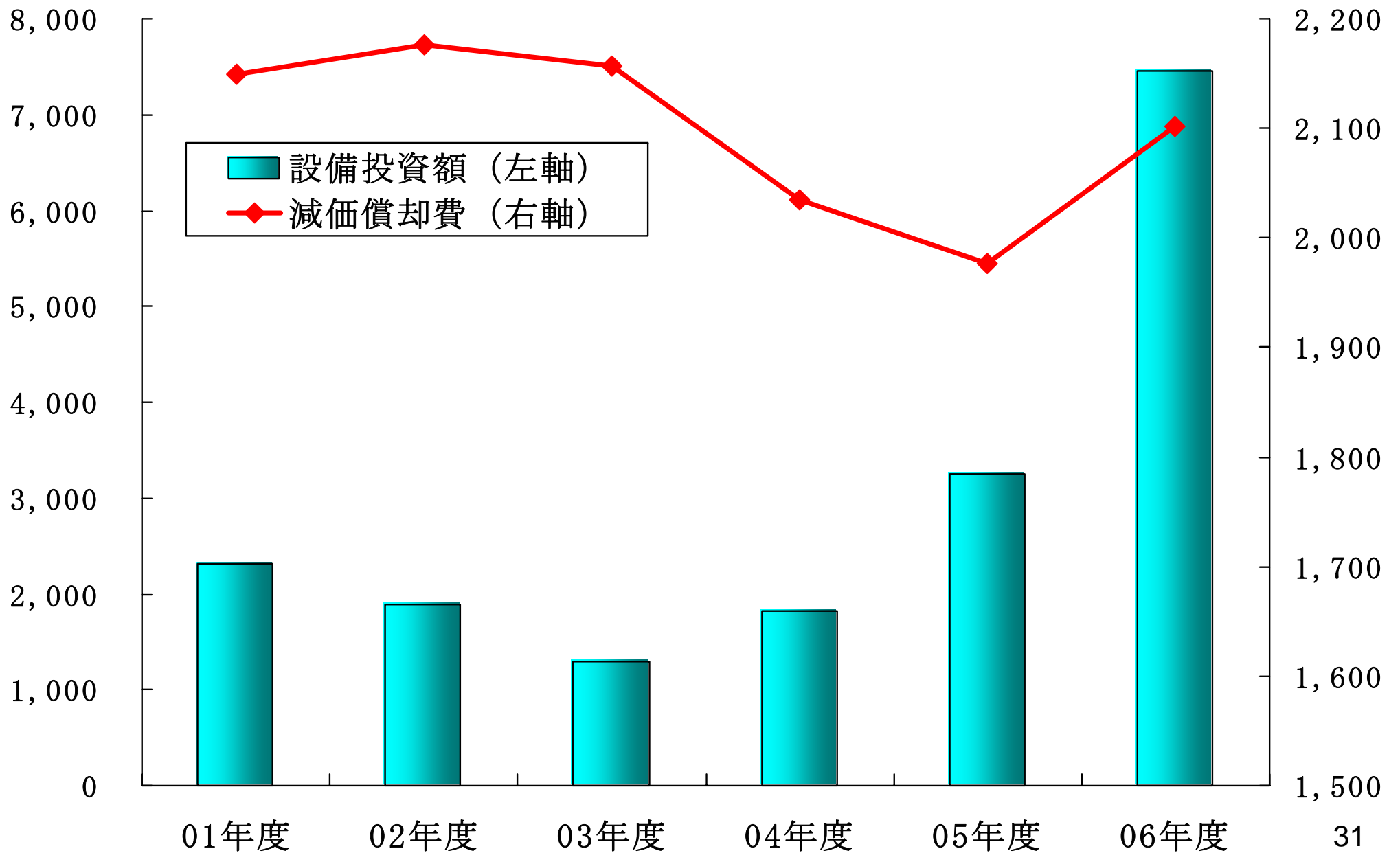
	04	05	06年度予想			年度差異	年度差異
	年度	年度	上期	下期	年度	05－04	06－05
THC販売量(t)	105	115	64	68	132	(○) 10	(○) 17
売上高(百万円)	4,256	4,747	2,600	2,700	5,300	(○) 491	(○) 553
営業利益(百万円)	985	1,494	500	770	1,270	(○) 509	(×) 224

営業利益 主な差異

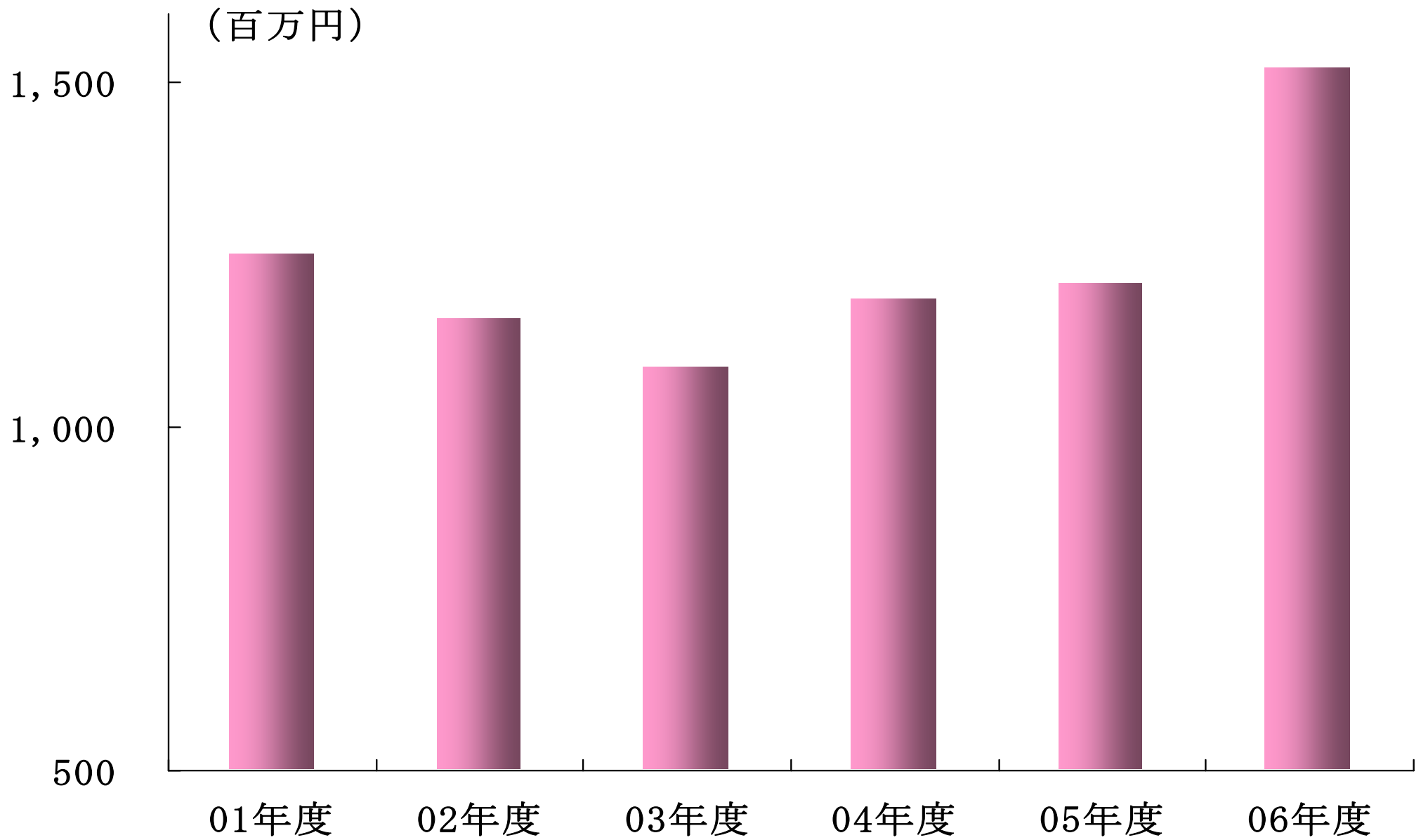
(百万円)	05－04	06－05
数量	(○) 170	(○) 360
価格・構成	(○) 370	(×) 180
その他	(×) 31	(×) 404
総計	(○) 509	(×) 224

触媒部門

設備投資額と減価償却費推移 (百万円)



研究開発費推移



貸借対照表

(百万円)

	04年度末	05年度末	差異	内訳
(資産の部)	31,868	35,616	3,748	
流動資産	15,154	18,152	2,998	受取手形、売掛金1,783 棚卸資産910
固定資産	16,714	17,464	750	建設仮勘定381
(負債の部)	12,246	11,055	△1,191	
流動負債	10,399	9,861	△538	短期借入金△4,414 未払法人税等3,315
固定負債	1,847	1,194	△653	長期借入金△700
(少数株主持分)	19	36	17	
(資本の部)	19,603	24,525	4,922	連結剰余金4,800
合計	31,868	35,616	3,105	

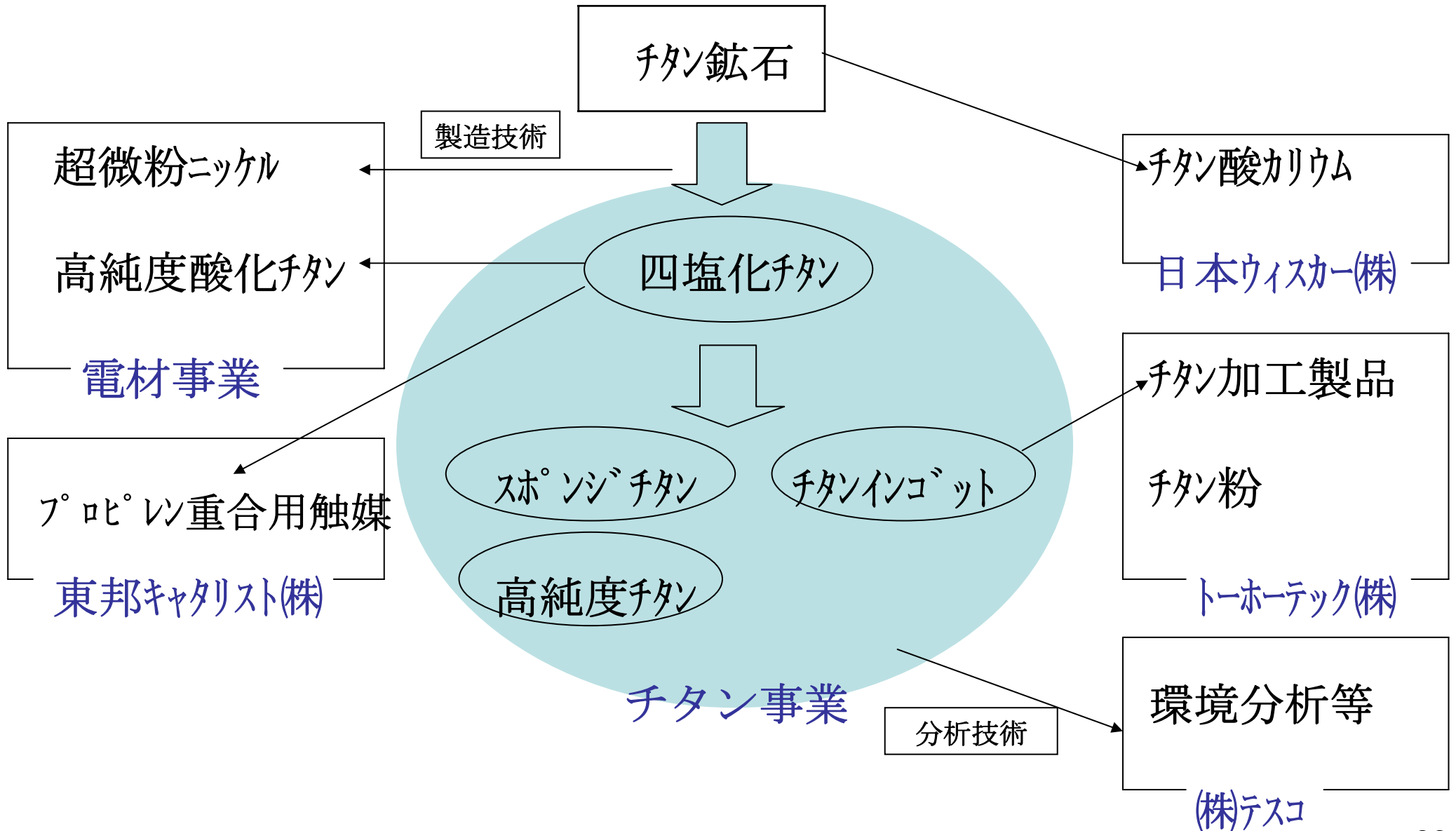
キャッシュフロー

(百万円)

	04年度	05年度	差異
税前当期純利益	2,454	8,476	6,022
棚卸資産の減少	1,364	△910	△2,274
その他	2,329	1,130	△1,199
営業計	6,147	8,696	2,549
有形固定資産の取得	△1,819	△3,245	△1,426
子会社株式売却	2,740	345	△2,395
その他	△53	52	105
投資計	868	△2,848	△3,716
借入金返済	△5,210	△5,114	96
配当支払	△227	△303	△76
その他	△32	△8	24
財務計	△5,469	△5,425	44
差引バランス	1,546	423	△1,123

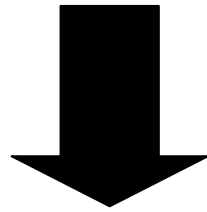
〔 3 〕 目標

世界最強のチタン総合メーカーを目指す



経営目標

グループ総合力の向上

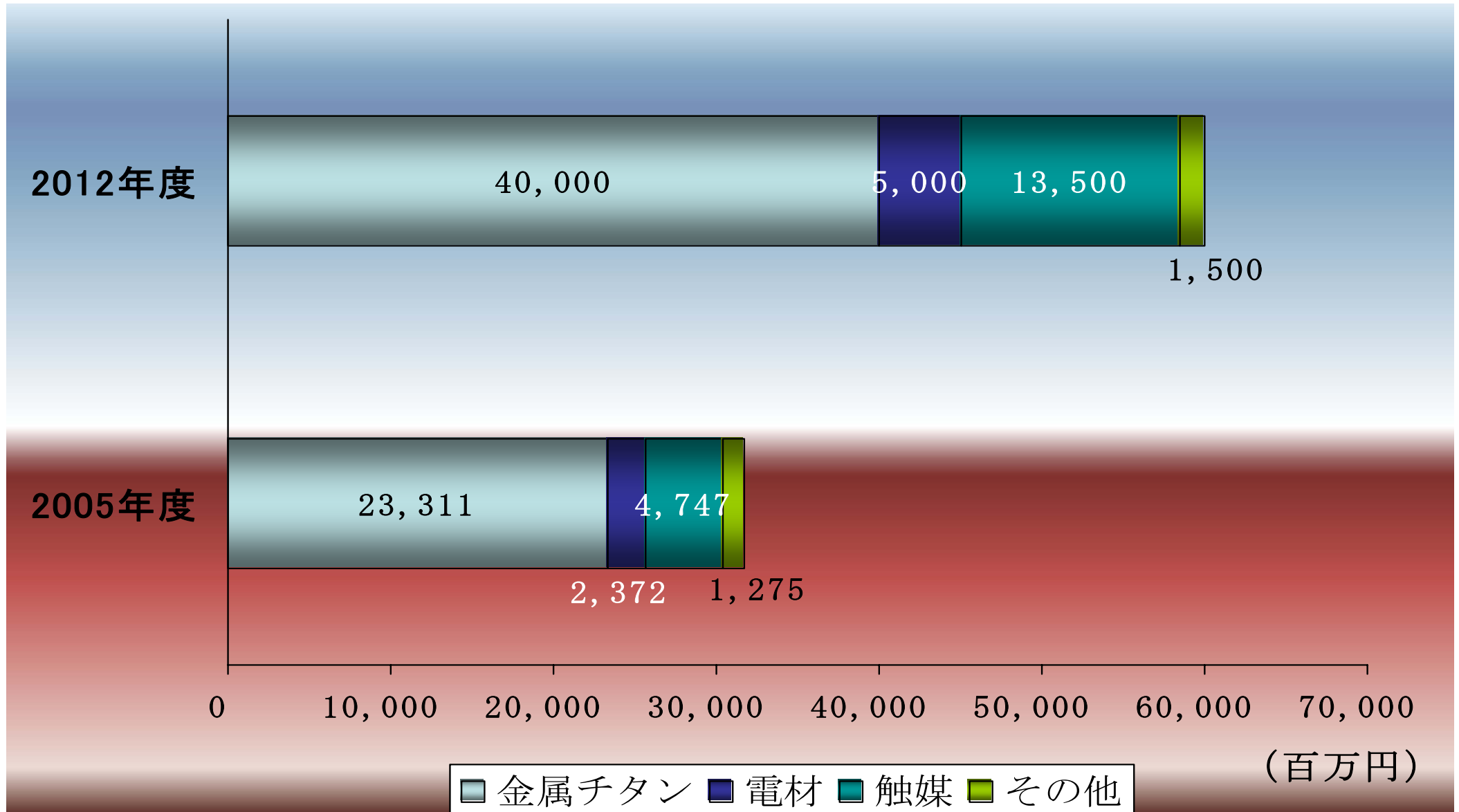


世界最強のチタン総合メーカー

2012年度

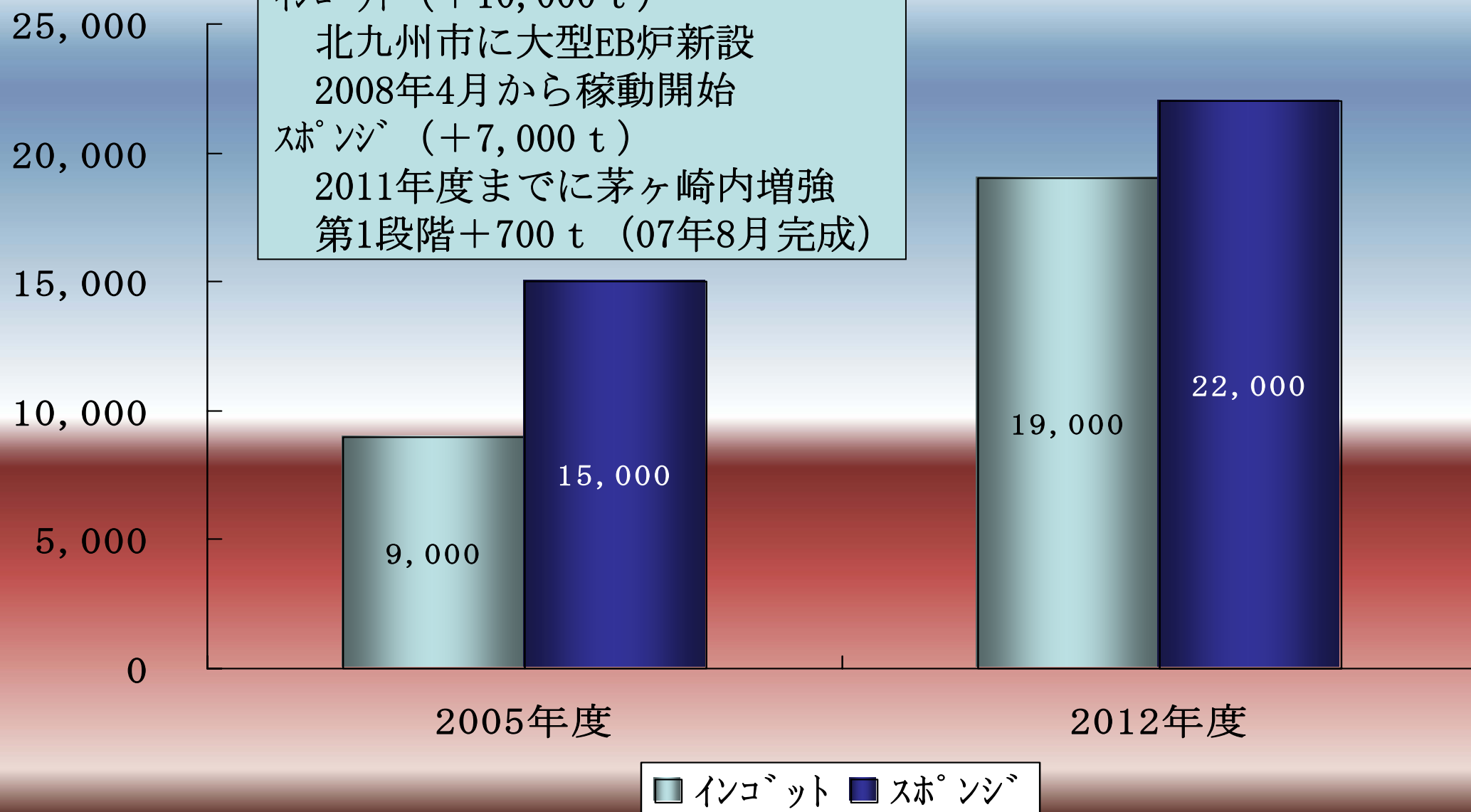
連結売上高 600億円以上

セグメント別売上目標

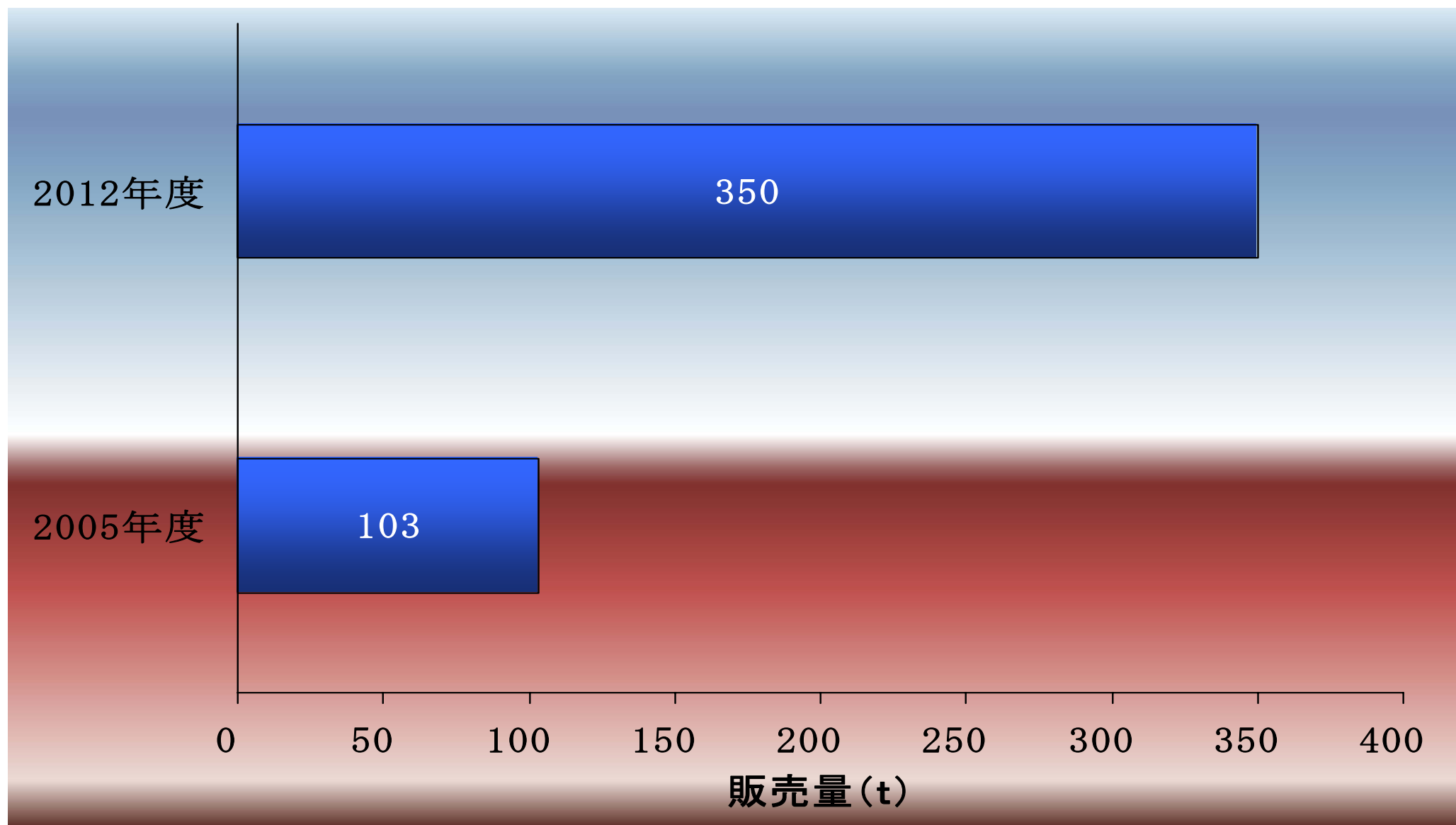


スポンジ・インコット生産能力 (t/年)

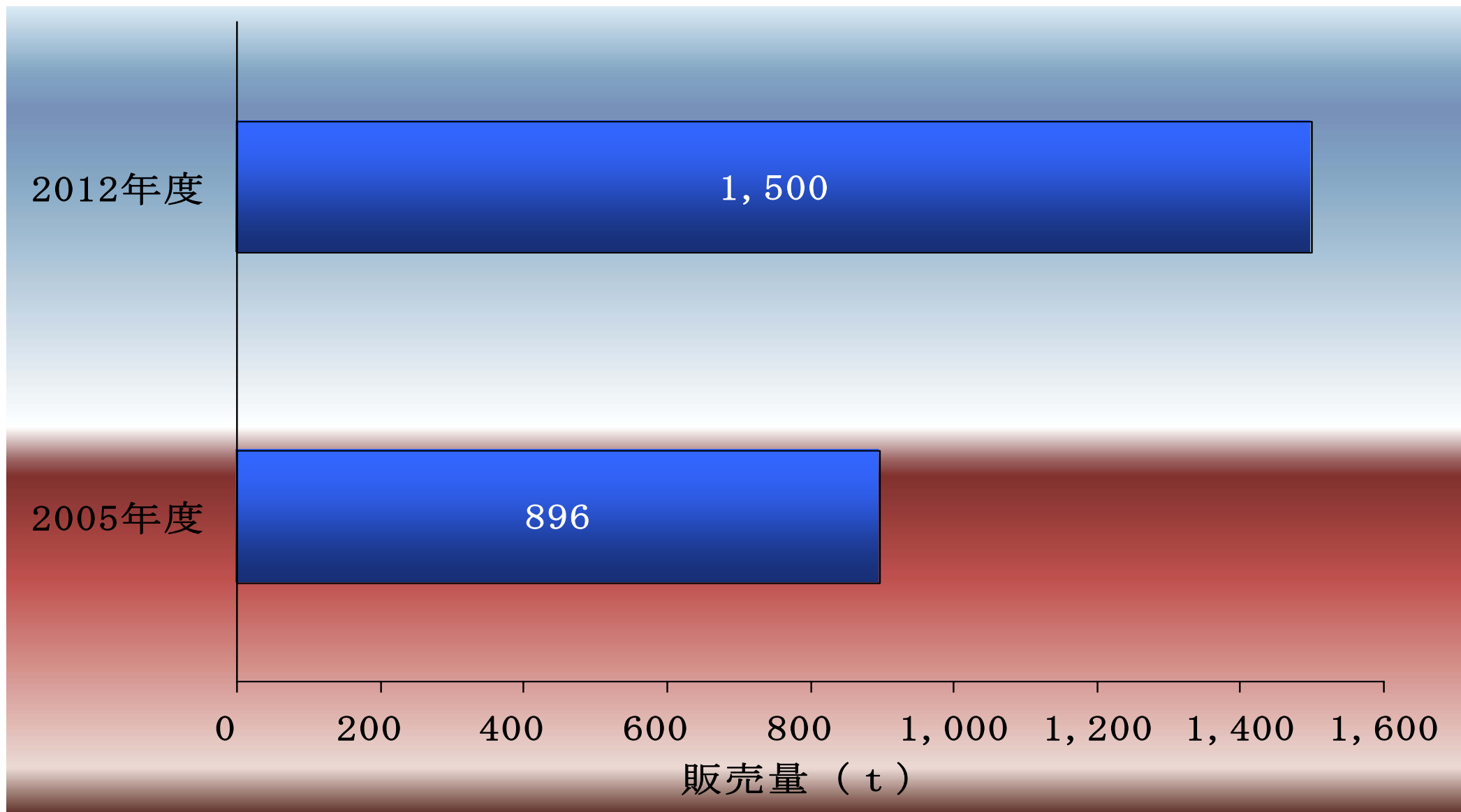
インコット (+10,000 t)
北九州市に大型EB炉新設
2008年4月から稼動開始
スポンジ (+7,000 t)
2011年度までに茅ヶ崎内増強
第1段階+700 t (07年8月完成)



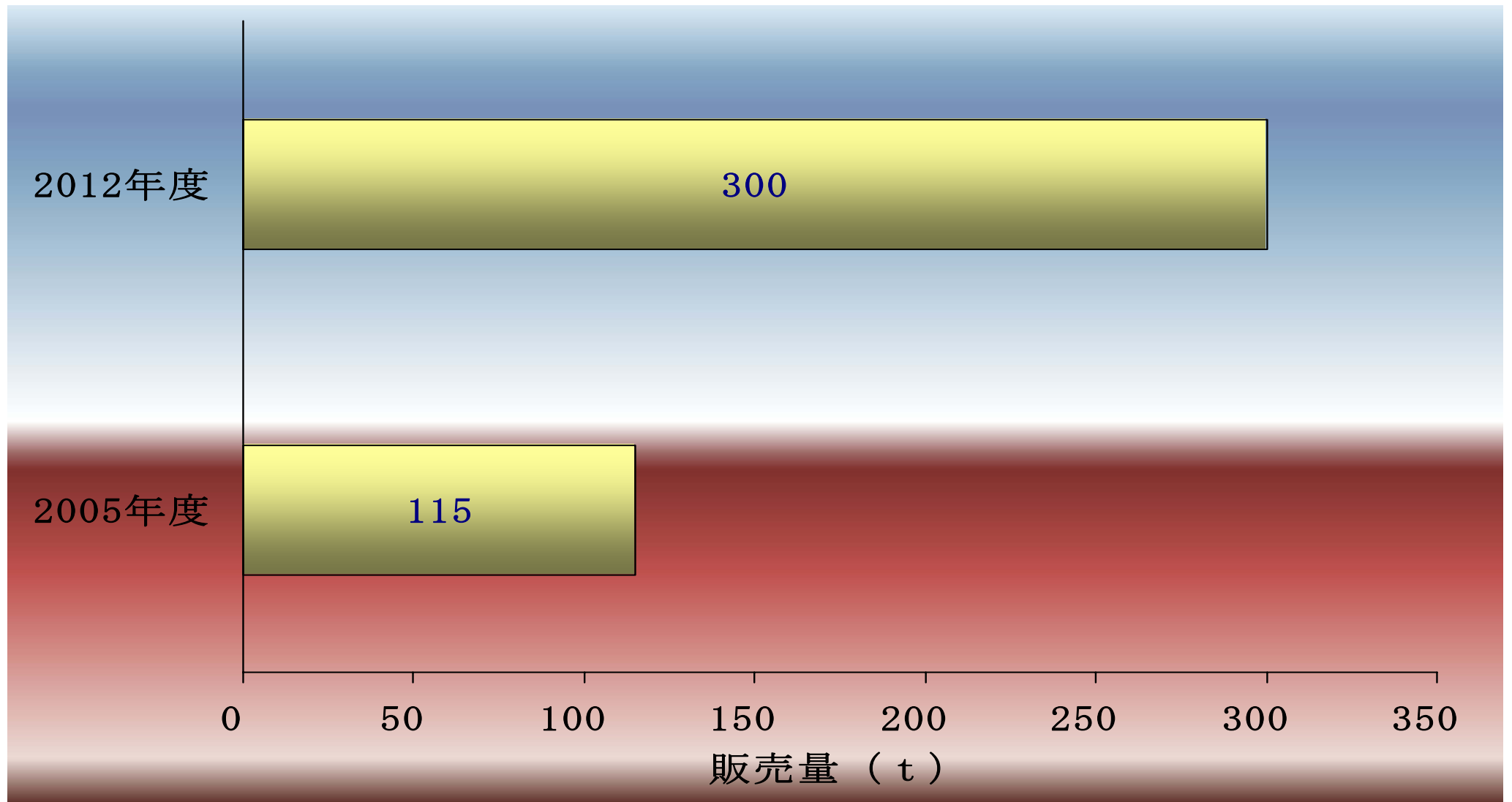
超微粉ニッケル販売量目標 (t/年)



高純度酸化チタン販売量目標 (t /年)



THC販売量目標 (t /年)



株式等について

配当政策

業績を反映した株主還元

連結当期利益の20%程度を目安

(設備投資、財務状況等を勘案)

東証一部指定

早期実現目標